

チームオレンジ ～ このまちで自分らしく生きていく ～



1.基本情報(令和7年3月31日時点)

市・町名	壱岐市		
人口	高齢者人口	高齢者率	面積
23,399人	9,364人	40.00%	138.6Km ²

2.チームの概要

チーム名	
開始時期	令和6年 4月 ～
実施主体	☒ 市町 ☐ 地域包括支援センター ☐ 住民・ボランティア ☐ 社会福祉協議会 ☒ その他 ()
チームオレンジ コーディネーターの属性	地域包括支援センター 認知症業務担当者(認知症地域支援推進員 兼務)
メンバー構成	認知症の人と家族の会壱岐地区会 はまべの会 5名 地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
活動頻度	認知症サポーター養成講座 随時 認知症市民公開講座 1回/年 家族会、相談会 不定期
チームオレンジの類型	☐ 第1類型 共生志向の標準タイプ ☒ 第2類型 既存拠点活用タイプ ☐ 第3類型 拠点を設置しない個別支援型タイプ ☐ その他
チームオレンジ三つの基本について	☐ 3つの基本を満たしている ☒ 3つの基本は満たしていないものの仕組みが構築されている。
運営財源	☐ 市町からの委託 ☐ 市町からの補助 ☒ 会費・参加費 ☐ その他 () ※上記の財源 ☐ 市町一般財源 ☐ 地域支援事業交付金 ☐ その他 ()

3.チームオレンジの設置に至ったプロセス

令和5年度に認知症の人と家族の会香岐地区会 はまべの会が、本人および家族会となる「はまべカフェ」を開催されることをきっかけに、チームオレンジの設置を市からお願いした。

4.活動内容

- ・「はまべカフェ」の開催
対象：認知症の人と家族、介護経験者、認知症に関心のある方、医療福祉関係者、はまべの会
※令和6、7年度は、認知症市民公開講座の時に実施
- ・家族介護教室・認知症に関する講演会
- ・認知症サポーター養成講座の従事

5.活動を進めて行く上で工夫したこと・配慮したこと

- ・令和4、5年度に県の「認知症サポーター活動促進事業」を活用しチームオレンジ勉強会を開催した。
- ・令和7年度は、「はまべカフェ」の定例開催はできなかったが、認知症市民公開講座を市（地域包括支援センター）が、はまべの会や香岐地域リハビリテーション広域支援センター認知症委員会と共催で、講演の他に認知症カフェブースや認知症に関するパンフレットの設置や掲示など連携を図り、市民へ情報提供、普及啓発を行った。

6.ステップアップ講座の開催状況・講座内容について

- ・認知症市民公開講座について、ステップアップ講座の開催を兼ねた。

7.活動してきたことで得られた効果・見えてきた課題

【効果】新しい認知症観について、少しずつではあるが、はまべの会や関係機関と協力しながら、市民へ普及啓発できている。
【課題】はまべカフェについては、開催方法等をはまべの会と協議し、市民や関係機関へ周知していく必要がある。

8.チームのアピールポイント

はまべカフェの開催時は、はまべの会や地域包括支援センターの職員だけでなく、認知症疾患医療センターや社会福祉協議会の職員も参加している。

9.今後の活動について

市民の方が、認知症について正しく理解し、心配なことがあった時などに、適切な対応ができるように今後も関係機関と協力しながら普及啓発をすすめていきたい。
認知症の人やご家族が、ゆっくりおしゃべりをしたり、気分転換できるようなカフェを家族の会の方々と開催していきたい。